

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年 1月15日

計画の名称	能代市の住みよい住環境及び水質保全の実現		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	能代市
計画の目標			

能代市生活排水処理整備構想に基づいた事業を推進し、住みよい住環境を実現するとともに、良好な環境を創造する。  
市民が良好な生活環境を確保するため、下水道の未普及対策を推進する。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ①住みよい住環境実現のため、下水道処理人口普及率を38.5% (H21) から44.7% (H26) に増加させる。
- ②能代終末処理場の処理能力の見直し(改築に伴う下水道法施行令第5条の6の規定の適用)により、処理能力を向上させなければならないことから、能代終末処理場における晴天時日最大汚水処理量を11,800m<sup>3</sup> (H21) から18,250m<sup>3</sup> (H26) に増設する。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	備考
64.7 %	64.7 %	100.0 %	

①下水道処理人口普及率  
下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)

②能代終末処理場水処理施設系列数  
晴天時最大汚水処理量(m<sup>3</sup>) / 事業認可計画晴天時最大汚水処理量(18,250m<sup>3</sup>)

全体事業費	合計 (A + B + C)	4,471 百万円	A	3,590 百万円 3,363 百万円	B	0 百万円 0 百万円	C	881 百万円 719 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	19.7% 17.6%
-------	-------------------	-----------	---	------------------------	---	----------------	---	--------------------	-------------------------------	----------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
能代市下水道事業担当課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。	計画期間終了後 (平成27年1月) 公表の方法 能代市のホームページにて掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	施設計画の見直し	能代処理区の効率的事業計画策定	能代市						33.80	
1-A1-3	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	能代処理区の管渠整備(未普及解消)	汚水管 φ=75~600mm L=13.4km 汚水管 φ=75~600mm L=13.8km	能代市						2,249.70	
1-A1-4	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	長崎中継ポンプ場増設(未普及解消)	汚水ポンプ増設(2.3m <sup>3</sup> /min=1台)	能代市						12.60	
1-A1-5	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	能代終末処理場増設(水質保全)	水処理第3系列の増設(6,450m <sup>3</sup> /日) 場内整備	能代市						1,027.00	
1-A1-10	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	中川原中継ポンプ場増設(水質保全)	分流汚水ポンプ(7.8m <sup>3</sup> /min=1台)、し渣破砕・脱水機(1.7m <sup>3</sup> /h)及びホッパー(4m <sup>3</sup> )増設	能代市						267.30	合流改善
合計													3,590.40	3,363.00	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0.00		

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	過疎	能代市	直接	能代市	能代処理区幹線管渠への接続管渠の整備	汚水管 φ=75~250 L=9.7km 汚水管 φ=75~250 L=7.8km	能代市						880.76	
合計												880.76			
718.58															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C-1	A1-3と接続する汚水枝線を一体的に整備することにより、普及面積の更なる拡大及び公共用水域の汚濁負荷の削減を図る。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>能代市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与するため、計画的かつ効率的に下水道を整備することで、下水道処理人口普及率の目標を達成した。(下水道処理人口普及率が6.6%増加)</li> <li>能代終末処理場の増設工事により処理能力が向上した。整備により放流水質の向上が期待できる。</li> </ul>										
II 定量的指標の達成状況		指標①(下水道 処理人口普及 率)	最終目標値	44.7%	目標値と実績値 に差が出た要因	下水道処理人口普及率は、目標値を上回って達成できた。						
			最終実績値	45.1%								
		指標②(能代終 末処理場水処理 施設系列数)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因		能代終末処理場水処理施設系列数は、目標のとおり平成26年度末で完成することができた。					
			最終実績値	100.0%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少社会の到来等社会経済情勢の変化を踏まえた適切な汚水処理計画を立案(1-A1-1)により、今後、より効果的な汚水整備が可能となる。</li> </ul>										
3. 特記事項(今後の方針等)												
<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画においては、定量的指標はすべて達成することが出来た。</li> <li>今後は、人口減少社会の到来等社会経済情勢の変化を踏まえた適切な汚水処理計画に基づき、引き続き計画的かつ効率的に汚水整備を行い、生活環境の改善、公共用水域の水質保全等、能代市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与していく。</li> </ul>												